

平成30年度日本臨床衛生検査技師会  
中四国支部医学検査学会（第51回）  
学会長 荒井 健  
（香川大学医学部附属病院検査部）



中四国支部医学検査学会は前身の中国四国臨床衛生検査学会から数えて今回で51回目を迎え、新たな半世紀のスタートを切ることになりました。平成30年度日本臨床衛生検査技師会中四国支部医学検査学会は、平成30年11月24日（土）25日（日）の2日間、サンポートホール高松、かがわ国際会議場を会場として開催いたします。

学会テーマは「未来設計～Turning Point 今すべきこと～」といたしました。新たな半世紀に向けたturning pointである今、未来に向けて何をすべきなのかを考えていかなければならない時が来ています。現在の臨床検査技師にとって最大の課題は、少子高齢化に伴う医療環境の変化に対する対応であろうと思います。2025年には全人口の18%が75歳以上になるといわれています。このような社会において、臨床検査技師も国民の健康増進・疾病予防活動や、在宅医療においても一定の役割を果たすことが重要になってきます。また、ゲノム医療やICT（情報通信技術）を活用した医療など、新しい医療に対応できる知識や技能を身に付けていくことも必要です。さらに、団塊の世代の定年退職後に入ってきた若手の技師に、技術・知識を継承していく人材育成も大きな課題といえます。今回の学会がこのような課題を解決する契機になればと考えています。

学会が行われるサンポート高松エリアは、近年急速に開発が進み香川県観光のスタート地として発展しています。2010年からは3年ごとに瀬戸内国際芸術祭が開催されており、瀬戸内海の島々を舞台に多数の芸術作品が展示されています。学会ポスターの赤かぼちゃは、日本を代表する現代アーティスト草間彌生さんの作品で、直島に展示されています。学会行事とともに香川の観光、食文化も存分に楽しんでいただきたいと思います。学会実行委員を始め香川県技師会員全員で皆様のお越しをお待ちしていますので、多数ご参加くださいますようお願いいたします。

## 平成30年度日臨技中四国支部医学検査学会（第51回）の開催にあたって

一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会  
代表理事会長 宮島喜文



本学会が、一般社団法人香川県臨床検査技師会の荒井健会長の下で、メインテーマ「未来設計～Turning Point今すべきこと～」として盛会に開催されますことを会員の皆様とともにお慶び申し上げます。

また、平素より一般社団法人日本臨床衛生検査技師会（以下、日臨技と略す）の活動に、ご理解、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、日臨技の活動につきましては、「日臨技を新生させ、未来を拓く」を目標に掲げ、様々な事業に取り組んで参りました。今年5月には静岡県浜松市で第67回日本医学検査学会を山口浩司学会長の下開催し、4,300人程の参加者をいただき成功裏に終了することができました。改めて、開催県はもとより、会員を始め、関係各位のご協力に感謝申し上げます。

日臨技主催支部学会は、学術活動の一環として、会員の資質向上を図ることを目的として、担当県の実行委員会が特色ある企画と運営で多くの会員の皆様が期待されているところです。また、数年前から日臨技の当面の課題をテーマとする日臨技企画などを通じて、私たちを取り巻く最新の医療情勢を踏まえた討議の場として重要な役割を果たしているものでもあります。

急速に進む技術革新は近い将来、臨床検査の分野でも大きく変貌する要素を含んでいます。例えば、インターネットや人工知能、そしてロボット開発について国を挙げて取り組んでいます。臨床検査へのAI(人口知能)の活用により、精度管理の判断や生理検査の判読などがAIやロボットに置き換わるのではと考えていますが、臨床検査技師の仕事として、検査説明・相談、採血、総合判断等が残ると思いますが、今後はオペレーターからコーディネーターへの転換も必要ではないかと思えます。

今後も国民皆保険制度を基本とした、持続可能な社会保障制度を維持するために、国は医療法規定の医療計画で都道府県毎に「地域医療構想」を策定し、2025年問題に対処するために、「病院完結型医療」から「地域完結型医療」へと介護を含めた政策の転換が図られます。今日、私たち医療現場においても、「時代は変わり、仕事も変わり、私たちも変わらなければいけない」状況にあるのではないのでしょうか。

臨床検査を通じて国民に対し、最良の医療を提供していくために、昨年6月医療法等の一部を改正する法律が成立し、医療法に「精度管理」の文言が初めて明記されました。今年7月「医療法施行規則」並びに「臨床検査等に関する法律施行規則」が公布され、臨床検査技師も精度管理責任者として明記され、今年12月に改正法が全面的に適用されることから、医療機関並びに衛生検査所等会員においては、施行に向けた準備が佳境に入っていることと存じます。

本学会のメインテーマである「未来設計～Turning Point今すべきこと～」をテーマに進むべき方向性について考えていただくことは非常に有意義であり、あわせて学術活動の更なる発展と日頃の研究成果を発表する場として参加される会員にとって実り多き学会であることを祈念申し上げます。

最後になりましたが、本学会を運営するにあたりご尽力をいただきました荒井健学会長、松村孝雄実行委員長をはじめ、香川県臨床検査技師会の皆様に心より感謝申し上げます。

平成30年11月24日

## 各県別演題数

### 一般演題

	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	徳島県	香川県	愛媛県	高知県	賛助	学生	合計
微生物	2	4	4	4	3	3	7	3	1	2		33
免疫血清	1			2		3	2	3				11
血液		1	3	8	3	4	7	3	2			31
臨床化学	1	1	4	3	1	2	1				4	17
病理	1						6				2	9
細胞			2	1			1					4
生理	3	1	5	3	2	8	14	4	3		1	44
一般			1	1			3					5
公衆衛生							1					1
輸血	1		3	1		1	8		2			16
遺伝子・染色体				1	1							2
管理運営				1			2		1			4
教育							1			1	1	3
チーム医療	1						2		2			5
その他									1			1
合計	10	7	22	25	10	21	55	13	12	3	8	186

### 特別企画

	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	徳島県	香川県	愛媛県	高知県	京都府	その他	合計
微生物			1	1				1		1	1	5
生物化学分析			2					1			2	5
血液				1		1		1			2	5
病理細胞	1							1			2	4
生理	1	1	1	1	1	2	3	2	2			14
一般		1	1	1	1		1	1			3	9
輸血			1			1		1			1	4
遺伝子・染色体				1							2	3
RCPC	1			1			1	1	1		1	6
合計	3	2	6	6	2	4	5	9	3	1	14	55

## 中国四国臨床衛生検査学会・医学検査学会のあゆみ

回	開催年月日	開催地	開催県
1	昭和43年10月13日	広島市	広島県
2	昭和44年11月12日	松山市	愛媛県
3	昭和45年10月10日	鳥取市	鳥取県
4	昭和46年11月21日	高知市	高知県
5	昭和47年11月 5日	山口市	山口県
6	昭和48年11月 3日	高松市	香川県
7	昭和49年11月 3日	松江市	島根県
8	昭和50年11月30日	徳島市	徳島県
9	昭和51年10月30日～10月31日	岡山市	岡山県
10	昭和52年 9月24日～ 9月25日	広島市	広島県
11	昭和53年 9月23日～ 9月24日	松山市	愛媛県
12	昭和54年10月 6日～10月 7日	米子市	鳥取県
13	昭和55年 9月23日～ 9月24日	高知市	高知県
14	昭和56年10月24日～10月25日	下関市	山口県
15	昭和57年10月30日～10月31日	丸亀市	香川県
16	昭和58年10月 6日～10月 7日	松江市	島根県
17	昭和59年10月 6日～10月 7日	徳島市	徳島県
18	昭和60年11月 3日～11月 4日	倉敷市	岡山県
19	昭和61年11月 1日～11月 2日	広島市	広島県
20	昭和62年10月31日～11月 1日	松山市	愛媛県
21	昭和63年10月 8日～10月 9日	鳥取市	鳥取県
22	平成 元年11月 3日～11月 4日	高知市	高知県
23	平成 2年11月10日～11月11日	山口市	山口県
24	平成 3年10月26日～10月27日	香川市	香川県
25	平成 4年11月 7日～11月 8日	松江市	島根県
26	平成 5年 9月25日～ 9月26日	徳島市	徳島県
27	平成 6年10月29日～10月30日	岡山市	岡山県
28	平成 7年10月14日～10月15日	広島市	広島県
29	平成 8年10月12日～10月13日	新居浜市	愛媛県
30	平成 9年10月10日～10月11日	米子市	鳥取県
31	平成10年 9月26日～ 9月27日	高知市	高知県
32	平成11年10月 9日～10月10日	山口市	山口県
33	平成12年10月21日～10月22日	高松市	香川県
34	平成13年 9月29日～ 9月30日	松江市	島根県
35	平成14年 9月28日～ 9月29日	徳島市	徳島県
36	平成15年11月 1日～11月 2日	岡山市	岡山県
37	平成16年11月 6日～11月 7日	広島市	広島県
38	平成17年11月 5日～11月 6日	松山市	愛媛県
39	平成18年11月 3日～11月 4日	鳥取市	鳥取県
40	平成19年10月27日～10月28日	高知市	高知県
41	平成20年11月 1日～11月 2日	下関市	山口県
42	平成21年10月31日～11月 1日	高松市	香川県
43	平成22年11月 6日～11月 7日	松江市	島根県
44	平成23年11月 5日～11月 6日	徳島市	徳島県
45	平成24年11月 3日～11月 4日	岡山市	岡山県
46	平成25年11月 9日～11月10日	広島市	広島県
47	平成26年 9月13日～ 9月14日	松山市	愛媛県
48	平成27年11月 7日～11月 8日	米子市	鳥取県
49	平成28年11月25日～11月26日	高知市	高知県
50	平成29年11月11日～11月12日	下関市	山口県
51	平成30年11月24日～11月25日	高松市	香川県

※第34回より中国四国医学検査学会に改称

※第45回より日臨技中四国支部医学検査学会に改称

# 学会実行委員会

---

学 会 長            荒井    健（香川大学医学部附属病院）

実行委員長        松村 孝雄（滝宮総合病院）

事務局 長         太田 安彦（香川県立保健医療大学）

## 実行委員

高橋 宗孝（三豊総合病院）

宮川 朱美（キナシ大林病院）

山本 直子（回生病院）

横内美和子（KKR高松病院）

泉宮 剛（三豊総合病院）

小林 万代（海部医院）

唐木 孝雄

平内 美仁（香川県立中央病院）

小原 浩司（さぬき市民病院）

高杉 淑子（高松赤十字病院）

森本 弘美（香川県立中央病院）

多田 達史（香川県立保健医療大学）

長町 健一（高松赤十字病院）

立石 謹也（香川県立保健医療大学）

花川 準司（株式会社四国中検 天神前検査所）

松下 千明（KKR高松病院）

虫本 一平（三豊総合病院）

香西 宣秀（滝宮総合病院）

井川加奈子（三豊総合病院）

三谷 隆（高松赤十字病院）

徳住 美鈴（高松赤十字病院）

伊関喜久男（香川大学医学部附属病院）

鬼松 幸子（回生病院）

西村 恵子（岡山医療センター）

藤川 栄吏（香川労災病院）

筒井 真人（高松赤十字病院）

杉 理恵（香川県立中央病院）

細川 真誠（株式会社四国中検 香川検査所）

谷本 光章（株式会社四国中検 香川検査所）

棚田佳代子（高松市立みんなの病院）

熊野 雅英（オーブ高松メディカルクリニック四国中検うぶ）

高坂 智則（高松赤十字病院）

南原しずえ（四国こどもとおとなの医療センター）

三崎 美江（香川県済生会病院）

宮崎 朋美（高松赤十字病院）

藤本 正和（香川県立白鳥病院）

永田 啓代（四国こどもとおとなの医療センター）

羽座 重男（環境保健研究センター）

中川 妙子（キナシ大林病院）

藤澤 千絵（宇多津病院）

中村 美香（辻クリニック）

八木 弘文（香川大学医学部附属病院）

谷渕 将規（坂出市立病院）

中條 晃志（坂出市立病院）

石井 康友（屋島総合病院）

石黒 宏昭（りつりん病院）

小原 和隆（さぬき市民病院）

多田 加奈（平和病院）

石丸 雄士（キナシ大林病院）

大森 浩美（回生病院）